

令和7年度 宮崎地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

ケアプラザの機能をまだ理解されていないエリアがあると思われます。身近なケアプラザとあっていただけると、今まで活動が手薄なエリアで意識的に啓発活動に取り組んでいきます。また地域の担い手も不足していると認識しています。地域の活動に積極的に参加し、またケアプラザでも魅力的な事業を展開していき、今まで参加がなかった住民にも興味を持っていただき交流の輪が広がるよう地域や各団体と協力しながら活動を続けていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザの自主事業や健康に関する講座を、ケアプラザから遠く情報が届きにくい老松町・西戸部・霞ヶ丘・赤門エリアなどで情報発信し、該当地域に重点的に広報活動を展開していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	現在把握している地域住民主体のサロン・NPO主催のサロンや高齢者向けのグループ活動、訪問サービス・自治会の情報を更新し、インフォーマルサービスリストやAyamuに反映してケアプラ内で共有するだけでなく地域住民やケアマネジャーにも情報提供し、必要なサービスが必要としている方に届くよう情報共有を密にしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	第一・第四地区懇談会・第一地区高齢支援部会などの部会を活用し、地域に必要な資源や課題の解決について話し合っていきます。 また、これまでの話し合いの中で共通の課題として挙げた認知症や障がいについての勉強会や講座の開催で知識を深め、誰もが住みやすい地域作りを構築していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	JAGESや地区概況シートから得た情報や、包括への相談から得た地域の課題について地域住民と共有し、必要とされる資源についても共通認識を得ることで新たなサービスの創出を促していきます。(霞ヶ丘・老松町・赤門・東ヶ丘など)また、ケアプラザの事業を自治会館などの小さな単位で開催して、誰でもが参加できるよう工夫し新たな担い手候補を発掘していきます。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント